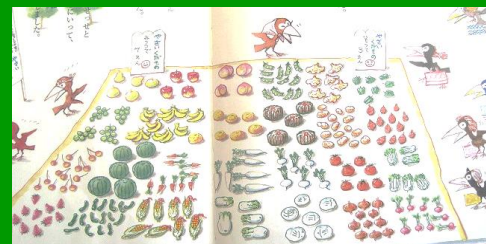
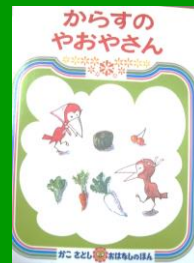


# えほんにつき

R2. 8. 20No.198



封戸保育園



今、そらクラスもにじクラスも積み木のコーナーに木ができています。  
「からすのぱん屋さん」をイメージして作ったものです。  
「からすのぱん屋さん」は、「からすのおかし屋さん」「からすのやおやさん」「からすのてんぷら屋さん」「からすのそば屋さん」のシリーズがあります。

初めの1冊「からすのパン屋さん」で、いずみがもりのパンやさんに、茶色のチョコちゃん、赤のりんごちゃん、黄色のレモンちゃん、白のおもちちゃんというかわいい子どもが4羽生まれました。そこから始まる物語。育児に忙しくなってすっかり売れなくなったパンやさんでしたが、4羽の子どもたちのおかげでみんなが並ぶほどのパンやさんになりました。  
「からすのおかし屋さん」では、チョコちゃんが活躍してパンやさんの隣にケーキやさんを出しました。「からすのやおやさん」では、りんごちゃんがお友だちのしんちゃんのために大奮闘！しっかり売れるやおやさんになりました。「からすのてんぷら屋さん」では、燃えてしまったてんぷらやさんをレモンちゃんやおもちちゃんがお友だちと一緒に力を合わせて建て直すことに・・・美味しいてんぷらの揚げ方を教えてもらいます。最後にレモンちゃんは、てんぷらやさんのお嫁さんになりました。  
「からすのそば屋さん」では、おもちちゃんがてんぷらの技を身につけたあと、白い畑を見つけました。豊後高田にも見られます。そばの畑でした。そこでそばの打ち方を身につけてそばやさんを開きます。そばだけでなく、うどんも食べたい、〇〇も食べたい。とメニューはどんどん増えていきます。そばやさんの繁盛ストーリーの始まりです。

なぜか子どもたちをひきつけてやまない「からすの・・・屋さん」シリーズ  
作者のかこさとし氏（1926年～2018年）の長年のベストセラーです。また、「だるまちゃん」シリーズや「からだの本」など多岐多様にわたっての本を出版されています。東京大学工学部応用化学科卒業、工学博士、児童文化研究者という一面もお持ちでした。

